

<その他、取組に特徴のある事例>

○若い担い手に引き継ぐまで頑張る集落

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県上 <small>かみうけなくんく</small> 浮穴郡久万高原町 <small>まこうげんちよう</small> 下直瀬 <small>しもなおせ</small>			
協定面積 1.8ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 38万円	個人配分			70%
	共同取組活動 (30%)	役員手当		5%
		農道水路等維持管理経費		18%
		マスタープランに向けた取組 その他		6% 1%
協定参加者	農業者 7人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

これまでの取組の結果、協定参加者の変更を幾度か行ったが耕作放棄地が発生することなく営農が継続され景観が保たれてきた。このことから今回の取組も全員が望んで実施することとなった。

3. 取組の内容

現在、購入した電気柵を毎年 L=960m 設置し協定内農地 1.8ha 全てをイノシシ被害から守っている。

また、今後の担い手確保や作業委託が依頼しやすくなるよう生産基盤の水路 L=135m を改修している。



【話し合いの様子】



【電気柵設置作業の様子】

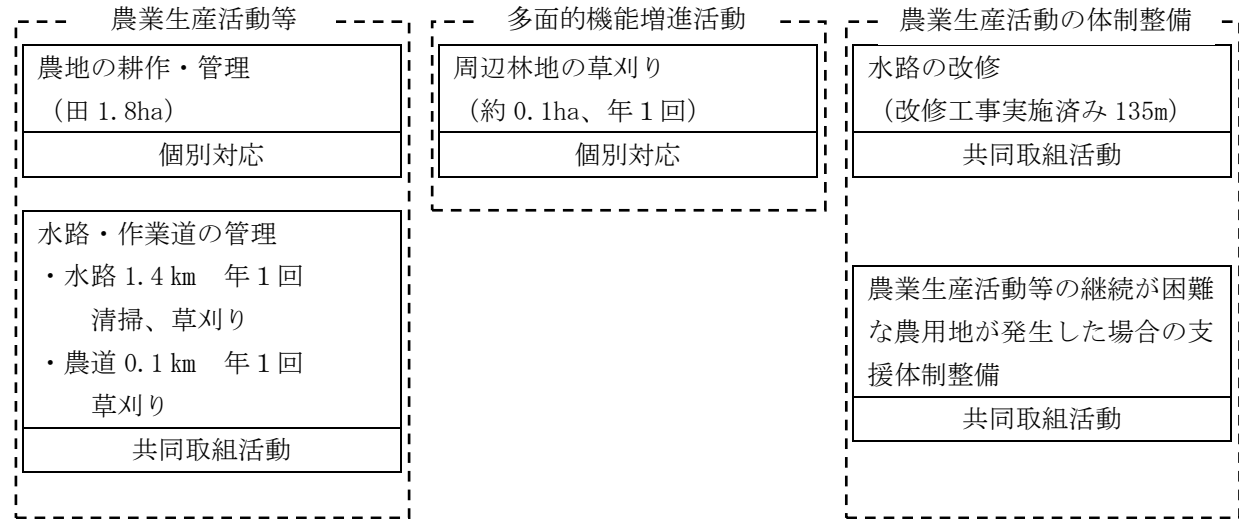
[集落の将来像]

- 集落ぐるみの農業生産活動体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

- 農協の水稲栽培指針による減農薬・減化学肥料（エコえひめ）栽培の取組を推進し、同じ製品を生産することで所得向上を図る。



4. 今後の課題等

担い手組織が安心して受託作業を行えるよう基盤整備を実施してきたが、作業委託をお願いする高齢農家が法面管理を今後も実施できるか不安がある。

[第 2 期対策の主な成果]

- 鳥獣害対策として電柵を設置し、イノシシ被害が減少。現在も継続して実施している。